

平成29年度第4回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成29年10月19日（木）13：15～14：15

場 所：各コア校（遠隔会議システム利用）

議 題：

1. SPODフォーラム2017の総括について
 - ・ SPODフォーラム2017受講者数について 【資料1-1】 …P1
 - ・ SPODフォーラム2017事前アンケート集計結果 【資料1-2】 …P5
 - ・ SPODフォーラム2017プログラム別アンケート集計結果(満足度) 【資料1-3】 …P7
 - ・ SPODフォーラム2017全体アンケート結果 【資料1-4】 …P9
 - ・ SPODフォーラム2017ポスターセッション優秀賞一覧 【資料1-5】 …P21
 - ・ SPODフォーラム2017記事(平成29年9月20日付教育学術新聞) 【参考資料1-1】 …P23
 - ・ SPODフォーラム2017事業評価委員会委員からの意見 【参考資料1-2】 …P25
2. SPODフォーラム2018について
 - ・ SPODフォーラム2018実施要項(案) 【資料2】 …P27
 - ・ SPODフォーラム2017チラシ 【参考資料2】 …P29
3. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費について
 - ・ 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費執行状況 【資料3-1】 …P31
 - ・ 平成29年度SPOD教職員能力開発経費申請要領(案) 【資料3-2】 …P35
 - ・ 平成29年度SPOD教職員能力開発経費申請書(案) 【資料3-3】 …P37
4. 研修プログラムガイドの見直しについて
 - ・ 研修プログラムガイドの見直しの概要(案) 【資料4-1】 …P39
 - ・ 研修プログラムガイドの見直しに関する加盟校からの意見とりまとめ 【資料4-2】 …P41
 - ・ SPODウェブサイトの見直しについて(案) 【資料4-3】 …P43
 - ・ 研修プログラムガイド(リーフレット化)のイメージ(案) 【参考資料3】 …P47
5. 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会(紙上)について
 - ・ 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会(紙上)議事概要 【資料5-1】 …P51
 - ・ 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会回答結果 【資料5-2】 …P53
 - ・ SPOD役員名簿(平成29年10月1日現在) 【資料5-3】 …P55
6. 平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修について
 - ・ 平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)アンケート結果 【資料6-1】 …P57

- ・平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）アンケート結果
【資料6-2】…P65
- ・平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）実施要項
【参考資料4-1】…P73
- ・平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）実施要項
【参考資料4-2】…P75

7. 平成29年度職員のための講師養成講座について

- ・平成29年度職員のための講師養成講座アンケート結果
【資料7】…P77
- ・平成29年度職員のための講師養成講座実施要項
【参考資料5】…P85

8. その他

SPODフォーラム2017受講者数について

【受講者数】

区分	教員	職員	学生・大学院生	その他	計
SPOD加盟校	91	131	3	0	225
SPOD加盟校外	78	99	1	2	180
合計	169	230	4	2	405

【開催日別受講者延べ人数】

日程・区分	教員	職員	学生・大学院生	その他	計
8月23日(水)	257	181	4	0	442
8月24日(木)	314	347	0	2	663
8月25日(金)	143	178	2	0	323
合計	714	706	6	2	1428

【参考】SPODフォーラムの受講者数経年変化

開催年	開催大学	開催日程	日数	参加人数					内訳												延べ
									SPOD加盟校						加盟校外						
				合計	教員	職員	学生・大学院生	その他	小計	教員	職員	学生・大学院生	その他	うち開催大学	うち開催県加盟校(開催大学以外)	小計	教員	職員	学生・大学院生	その他	
2017	徳島大学	H29.8.23 ～ H29.8.25	3	405	169	230	4	2	225	91	131	3		69	49	180	78	99	1	2	1428
2016	愛媛大学	H28.8.24 ～ H28.8.26	3	503	191	305	3	4	305	108	194	3		87	88	198	83	111		4	1469
2015	愛媛大学	H27.8.26 ～ H27.8.28	3	488	197	285	0	6	286	112	172		2	74	69	202	85	113		4	1507
2014	高知大学	H26.8.27 ～ H26.8.29	3	437	191	239	0	7	259	112	146		1	106	57	178	79	93		6	1295
2013	愛媛大学	H25.8.20 ～ H25.8.23	4	560	209	312	35	4	369	130	204	35		112	128	191	79	108		4	1538
2012	徳島大学	H24.8.22 ～ H24.8.24	3	496	168	271	53	4	373	129	191	53		103	46	123	39	80		4	1432

SPODフォーラム2017の申込み状況について（プログラム別）

平成29年8月25日現在

日時	番号	プログラム名	講師	教員	職員	学生/ 大学院	その他	計
8月23日（水） 1時限	2301A	若手職員のためのキャリア形成入門	織田隆司	4	14	0	0	18
	2301B	反転授業をやってみよう-橋本メソッドの実践から-	金西計英	23	0	0	0	23
	2301C	教職員のための大学の危機管理-事例から考えるハラスメント-	吉田一恵 高木佳代子	7	16	0	0	23
	2301D	データに基づいた教育改善	清水栄子	22	12	1	0	35
	2301E	FD担当者研修	宮田政徳 吉田博 中井俊樹 小林忠資	12	8	0	0	20
	2301F	コミュニケーションの基礎-ワークショップ体験から学ぶ-	三隅友子	14	20	0	0	34
8月23日（水） 2時限	2302A	事例から学ぶ「学生」「後輩職員」との対話型コミュニケーション講座	次世代7期生	1	23	0	0	24
	2302B	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業-協同学習入門編-	葛城浩一	25	2	0	0	27
	2302C	大学で地域課題解決に関わる教職員のためのエンパワメント手法入門-地域課題の抽出と解決に向けての合意形成づくり-	前田眞	19	20	0	0	39
	2302D	大人数講義のコツ（とくに授業初心者のための）	小林直人	23	7	1	0	31
	2302F	ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方	村田晋也	22	7	0	0	29
8月23日（水） 3時限	2303B	学生参加型授業の技法	西本佳代	27	1	0	0	28
	2303C	質問を変えると授業が変わる？！	川野卓二	25	0	0	0	25
	2303D	ダイバーシティの推進について	村上弥生	11	36	0	0	47
	2303F	ルーブリック評価入門-考える、つくる、活用する-	俣野秀典	17	12	0	0	29
8月24日（木） 1時限	2401A	職員のための「前向きな職場づくり」入門-実践知を可視化、活用する-	宮林常崇	2	41	0	0	43
	2401B	教職協働で学生を育成する-学生をホンキにさせるコツ-	岸岡洋介	23	24	0	0	47
	2401C	若手・中堅職員のためのキャリア形成・支援ワークショップ	秦敬治	6	35	0	0	41
	2401D	理工系講義形式授業において 学生の学習を促進する授業デザイン	榊原暢久 吉田博	20	0	0	0	20
	2401E	「クラウドファンディング」ちょこっとやってみませんか？-科研費に変わる新たな外部資金獲得方法-	角村法久	9	10	0	0	19
	2401F	学年間のつながりを生み出す学習環境デザイン	山田嘉徳	17	0	0	0	17
8月24日（木） 2時限	2402A	中堅職員のための問題解決型プロジェクトマネジメント	丸山智子	1	42	0	0	43
	2402B	学生の学びを促す学習評価の方法	山田剛史	44	1	0	0	45
	2402C	学生支援に必要なカウンセリング入門	杉田郁代 吉岡瞳	9	40	0	0	49
	2402D	教育改革を担う教職員のためのリーダーセミナー「教育改革戦略の多様化と自大学文脈の可視化に向けた組織開発-ストーリーテリングの視点を交えて-」	川島啓二	12	22	0	0	34
	2402E	ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法	立川明	24	0	0	0	24
	2402F	教育実践を研究にする5つのステップ-SoTLの理論と実践-	佐藤浩章	25	5	0	0	30
8月24日（木） 3時限	2403G	【シンポジウム】「学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援」	秦敬治 俣野秀典 佐々木奈三江	122	126	0	2	250
8月25日（金） 1時限	2501A	部下を育てるメンタリング-次の一步を踏み出させ、自らも気づく-	阿部光伸	5	31	0	0	36
	2501B	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業-協同学習・図解の技法編-	中住幸治	32	0	1	0	33
	2501C	学生支援担当者のための法律に基づく障害学生への合理的配慮	青野透	7	27	0	0	34
	2501D	経験を学びにかえる-学生・若手職員に求められる能力を考える-	塩崎俊彦	5	29	0	0	34
	2501E	教務系職員としての実践知を増やそう-学びを促す学生対応とは何かを考える-	竹中喜一	1	18	0	0	19
	2501F	学生のモチベーションを高める授業デザインと実践	川瀬和也	25	1	0	0	26
8月25日（金） 2時限	2502A	大学グローバル化と職員の英語力：大学職員が自分の英語学習力をどう高めるのか	福田ステイブ 利久	2	28	0	0	30
	2502B	グラフィックシラバスを書こう	宮田政徳	18	1	0	0	19
	2502C	実践的インターンシップ導入のススメ	川崎克寛	10	9	0	0	19
	2502D	「発達の場」としての授業デザイン-パフォーマンス心理学入門-	新原将義	31	10	1	0	42
	2502E	学務系職員の基礎力講座-教職協働における事務職員の役割-	三好信幸 福川利夫 宮川純子	1	23	0	0	24
	2502F	看護教員のためのアクティブラーニング（AL）入門-講義にALを組み込む-	小林忠資	6	1	0	0	7
合計				709	702	4	2	1417

※ポスターセッション及び情報交換会のみ参加（プログラム受講なし）の11名（教員5名、職員4名、学生/大学院生2名）を含め、8/23～25延べ参加者数1428名

SPODフォーラム2017事前アンケート集計結果

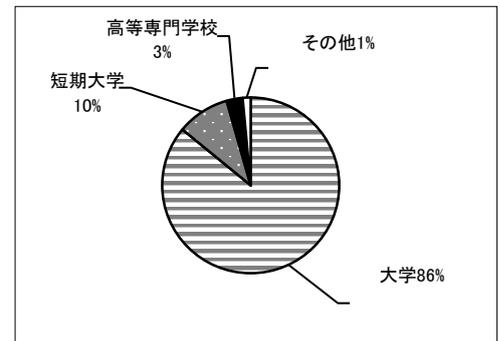
アンケート回答者数:342名(当日申込みを除く, WEBでの受講申込時に実施)

参加者の属性

(1) 所属先

	度数	割合
① 大学	294	86.0%
② 短期大学	33	9.6%
③ 高等専門学校	10	2.9%
④ その他	5	1.5%
計	342	100.0%

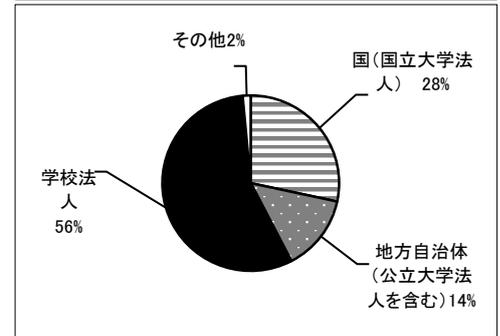
その他:大学コンソーシアム(4), 国立大学協会(1)



(2) 所属先の設置者

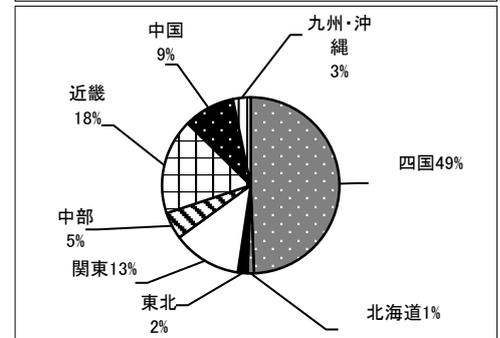
	度数	割合
① 国(国立大学法人)	97	28.4%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	48	14.0%
③ 学校法人	192	56.1%
④ その他	5	1.5%
計	342	100.0%

その他:大学コンソーシアム(4), 国立大学協会(1)



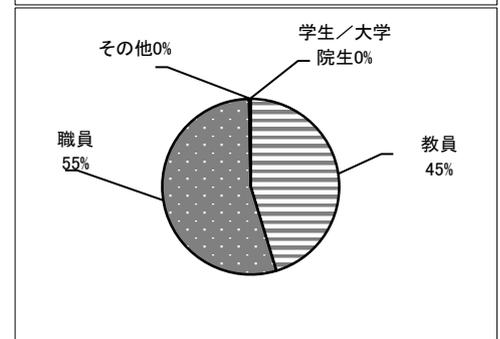
(3) 所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	169	49.4%
② 北海道	4	1.2%
③ 東北	6	1.8%
④ 関東	43	12.6%
⑤ 中部	17	5.0%
⑥ 近畿	60	17.5%
⑦ 中国	32	9.4%
⑧ 九州・沖縄	11	3.2%
計	342	100.0%



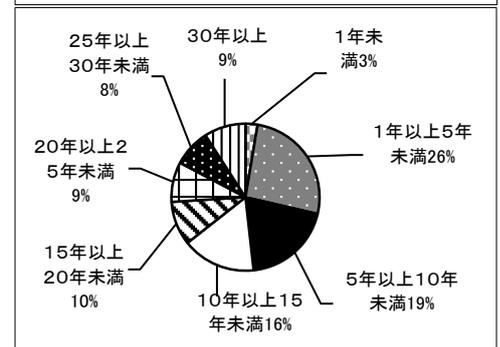
(4) 職種

	度数	割合
① 教員	155	45.3%
② 職員	186	54.4%
③ 学生/大学院生	1	0.3%
④ その他	0	0.0%
計	342	100.0%



(5) 大学教職員等の経験年数

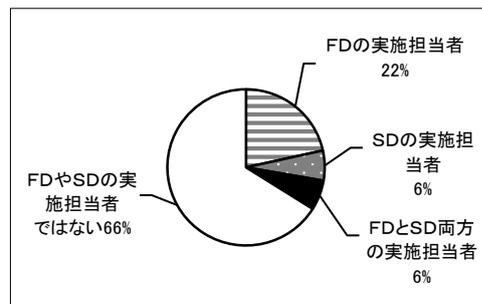
	度数	割合
① 1年未満	9	2.6%
② 1年以上5年未満	89	26.0%
③ 5年以上10年未満	67	19.6%
④ 10年以上15年未満	55	16.1%
⑤ 15年以上20年未満	33	9.6%
⑥ 20年以上25年未満	30	8.8%
⑦ 25年以上30年未満	28	8.2%
⑧ 30年以上	31	9.1%
計	342	100.0%



1. あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

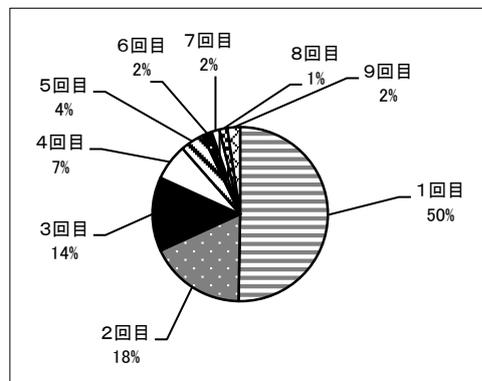
	度数	割合
① FDの実施担当者□	73	21.5%
② SDの実施担当者□	21	6.2%
③ FDとSD両方の実施担当者□	21	6.2%
④ FDやSDの実施担当者□はない	224	66.1%
計	339	100.0%

※4名無回答



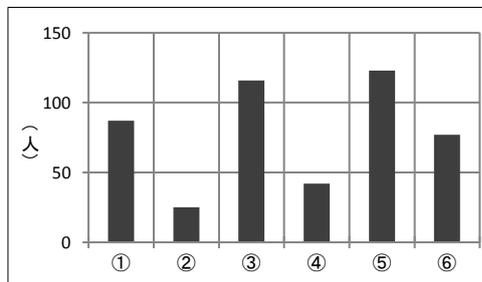
2. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	172	50.3%
② 2回目	61	17.8%
③ 3回目	47	13.7%
④ 4回目	23	6.7%
⑤ 5回目	15	4.4%
⑥ 6回目	6	1.8%
⑦ 7回目	5	1.5%
⑧ 8回目	5	1.5%
⑨ 9回目	8	2.3%
計	342	100.0%



3. SPODフォーラムをどこで知りましたか？（複数選択可）

	度数	割合
① SPODホームページ	87	25.4%
② SPODメールマガジン	25	7.3%
③ SPODフォーラムチラシ	116	33.9%
④ SPOD研修プログラムガイド	42	12.3%
⑤ SPOD関係者からの案内	123	36.0%
⑥ その他	77	22.5%
アンケート回答者数	342	

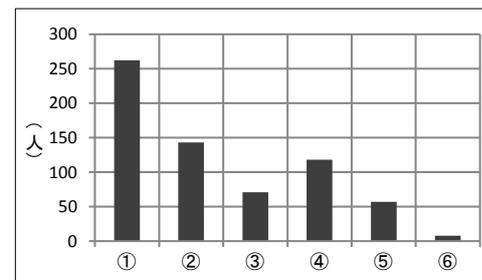


その他の記述内容

- ・ 職場からの案内 33
- ・ 上司からの案内 7
- ・ 関係者からの案内 3
- ・ 同僚からの案内 3
- ・ あさがおメールリスト 3
- ・ 過去の参加者からの口コミ 2
- ・ 同職者からの案内 1

4. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可）

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	262	76.6%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	143	41.8%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	71	20.8%
④ FDやSDに関する情報収集のため	118	34.5%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	57	16.7%
⑥ その他	8	2.3%
アンケート回答者数	342	



その他の記述内容

- ・ 大学研修の一環として 3
- ・ 学外研修として 1
- ・ 過去の参加者からの勧め 1
- ・ (次回開催校の教職員であるため) 来年に向けて 1

SPODフォーラム2017全体アンケート集計結果

当日参加者数: 405名
 SPOD加盟校から: 225名
 SPOD加盟校以外から: 180名

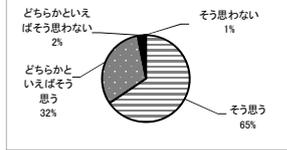
アンケート回答者数: 168名
 回答率: 41.5%
 回答期間: 9/15(金)~9/29(金) ※フォーラム終了3週間後よりWEB入力にて実施

1. SPODフォーラムでの研修成果について

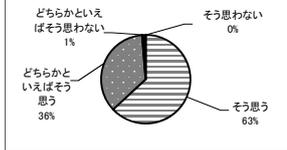
【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	110	65.5%
② どちらかといえばそう思う	53	31.5%
③ どちらかといえばそう思わない	4	2.4%
④ そう思わない	1	0.6%
計	168	100.0%
無回答	0	

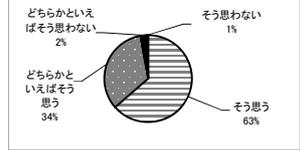
SPODフォーラム2017(徳島大学開催)



SPODフォーラム2016(愛媛大学開催)

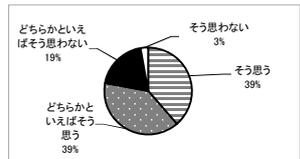
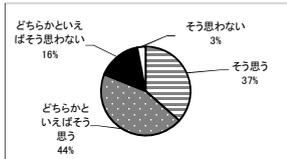
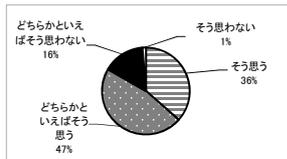


SPODフォーラム2015(愛媛大学開催)



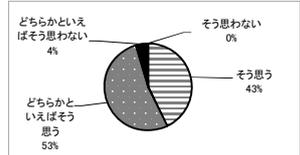
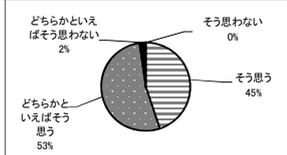
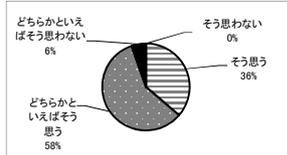
【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	61	36.3%
② どちらかといえばそう思う	78	46.7%
③ どちらかといえばそう思わない	26	15.6%
④ そう思わない	2	1.2%
計	167	100.0%
無回答	1	



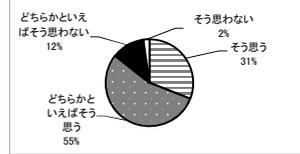
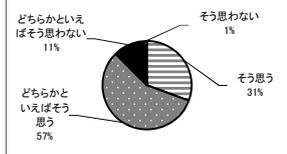
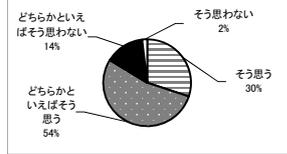
【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	61	36.3%
② どちらかといえばそう思う	98	58.3%
③ どちらかといえばそう思わない	9	5.4%
④ そう思わない	0	0.0%
計	168	100.0%
無回答	0	



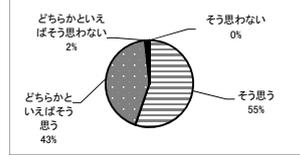
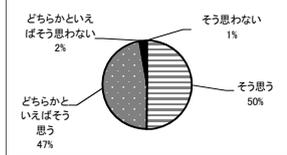
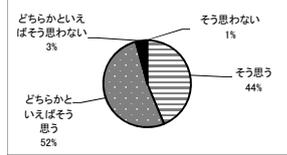
【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	50	30.1%
② どちらかといえばそう思う	89	53.6%
③ どちらかといえばそう思わない	24	14.5%
④ そう思わない	3	1.8%
計	166	100.0%
無回答	2	



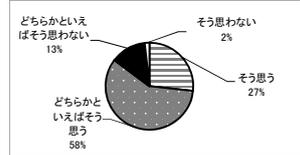
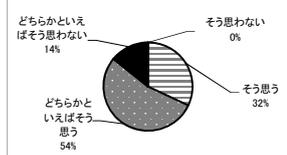
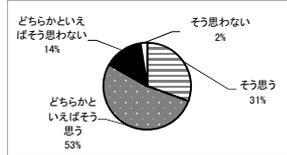
【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	73	43.7%
② どちらかといえばそう思う	87	52.1%
③ どちらかといえばそう思わない	6	3.6%
④ そう思わない	1	0.6%
計	167	100.0%
無回答	1	



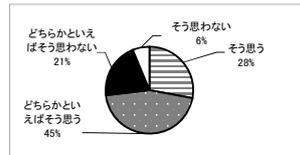
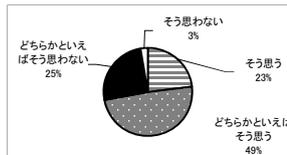
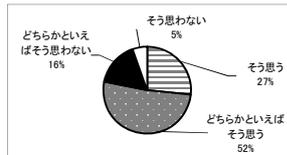
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	51	30.5%
② どちらかといえばそう思う	88	52.7%
③ どちらかといえばそう思わない	24	14.4%
④ そう思わない	4	2.4%
計	167	100.0%
無回答	1	



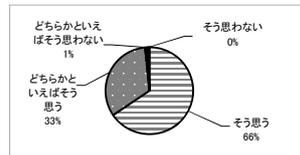
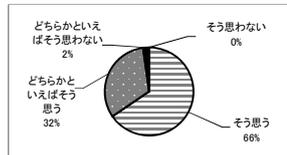
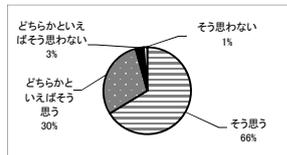
【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	44	26.7%
② どちらかといえばそう思う	85	51.5%
③ どちらかといえばそう思わない	27	16.4%
④ そう思わない	9	5.5%
計	165	100.0%
無回答	3	



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	110	66.3%
② どちらかといえばそう思う	49	29.5%
③ どちらかといえばそう思わない	5	3.0%
④ そう思わない	2	1.2%
計	166	100.0%
無回答	2	

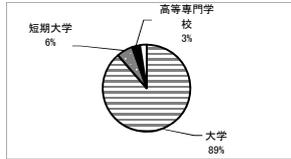


2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

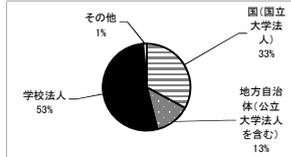
所属先

	度数	割合
① 大学	149	88.7%
② 短期大学	10	6.0%
③ 高等専門学校	5	3.0%
④ その他	4	2.4%
計	168	100.0%
無回答	0	



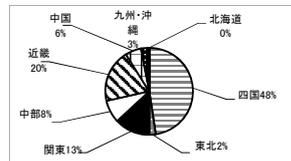
所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	55	32.9%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	22	13.2%
③ 学校法人	88	52.7%
④ その他	2	1.2%
計	167	100.0%
無回答	1	



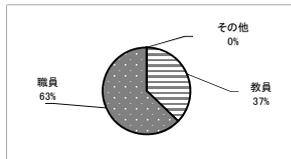
所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	80	47.6%
② 東北	4	2.4%
③ 関東	22	13.1%
④ 中部	14	8.3%
⑤ 近畿	33	19.6%
⑥ 中国	10	6.0%
⑦ 九州・沖縄	5	3.0%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	168	100.0%
無回答	0	



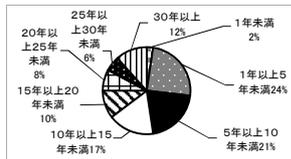
職種

	度数	割合
① 教員	61	37.2%
② 職員	103	62.8%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	0	0.0%
計	164	100.0%
無回答	4	



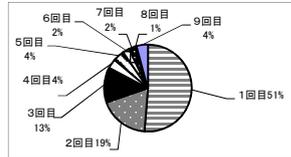
大学教職員等の経験年数

	度数	割合
① 1年未満	4	2.4%
② 1年以上5年未満	40	24.4%
③ 5年以上10年未満	34	20.7%
④ 10年以上15年未満	28	17.1%
⑤ 15年以上20年未満	17	10.4%
⑥ 20年以上25年未満	13	7.9%
⑦ 25年以上30年未満	9	5.5%
⑧ 30年以上	19	11.6%
計	164	100.0%
無回答	4	



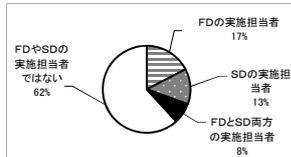
SPODフォーラムへの参加回数

	度数	割合
① 1回目	86	51.2%
② 2回目	31	18.5%
③ 3回目	22	13.1%
④ 4回目	6	3.6%
⑤ 5回目	7	4.2%
⑥ 6回目	4	2.4%
⑦ 7回目	4	2.4%
⑧ 8回目	1	0.6%
⑨ 9回目	7	4.2%
計	168	100.0%
無回答	0	



あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	29	17.4%
② SDの実施担当者	22	13.2%
③ FDとSD両方の実施担当者	13	7.8%
④ FDやSDの実施担当者ではない	103	61.7%
計	167	100.0%
無回答	1	



SPODフォーラム2017ポスターセッション 「優秀ポスター賞」受賞取組一覧

投票場所:ポスターセッション会場(地域創生・国際交流会館1階 コモンラウンジ)

投票期間:平成29年8月23日(水)17:40~8月24日(木)13:00

表彰式 :平成29年8月24日(木)情報交換会時

ポスター番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD加盟校	
10	学生調査の選択肢が学生の自己評価に与える影響	松本高志	阿南工業高等専門学校	○	小松実(阿南工業高等専門学校) 山田耕太郎(阿南工業高等専門学校) 川畑成之(阿南工業高等専門学校) 太田健吾(阿南工業高等専門学校) 菊池弥生(阿南工業高等専門学校)
15	学生による情報センターサービス向上のための啓蒙活動	角谷充彦	中京大学		岩田庄平(中京大学)
17	職場の人材育成機能を強化するOJTツールの開発	玉井大輔	滋賀県立大学		宮林常崇(首都大学東京)
20	防災をテーマとした準正課教育の実践と教育効果の検討	藤巻晃	徳島文理大学	○	桃井克将(徳島文理大学) 多田一子(徳島文理大学) 藤本正己(徳島文理大学)

SPODフォーラム2017ポスターセッション取組一覧

日時:平成29年8月23日(水)17:40~19:00

場所:徳島大学地域創生・国際交流会館1階コモンラウンジ

ポスター番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD加盟校	
1	芝浦工大における科研費採択支援研修	坂井直道	芝浦工業大学教育イノベーション推進センター		榊原暢久(芝浦工業大学工学部共通学群数学科) 鈴木洋(芝浦工業大学教育イノベーション推進センター)
2	理工系分野におけるFDプログラム開発の展開ver3.0	榊原暢久	芝浦工業大学教育イノベーション推進センター/工学部		吉田博(徳島大学総合教育センター)
3	職場の人材育成機能を強化するOJTツールの開発	玉井大輔	滋賀県立大学事務局教務グループ		宮林常崇(首都大学東京日野キャンパス管理部)
4	AP事業大学の学びの質保証について	杉田郁代	高知大学大学教育創造センター	○	塩崎俊彦(高知大学大学教育創造センター) 立川明(高知大学大学教育創造センター)
5	e-ポートフォリオを用いた学生の学修成果の可視化について	塩崎俊彦	高知大学大学教育創造センター	○	杉田郁代(高知大学大学教育創造センター) 立川明(高知大学大学教育創造センター)
6	学生による情報センターサービス向上のための啓蒙活動	角谷充彦	中京大学学術情報システム部		岩田庄平(中京大学法学部)
7	臨床実習前のセルフモニタリング付客観的臨床能力試験	山本麻理奈	香川大学自然科学生命系	○	清水裕子(香川大学自然科学生命系)
8	卒業時アウトカムを取り入れた新シラバスによる学修成果の可視化について	内田竜司	福岡歯科大学教育支援・教学IR室		児玉淳(福岡歯科大学学生体構造学講座機能構造学分野) 赤間尚希(福岡歯科大学教育支援・教学IR室)
9	学生調査の選択肢が学生の自己評価に与える影響	松本高志	阿南工業高等専門学校創造技術工学科電気コース	○	小松実(阿南工業高等専門学校創造技術工学科) 山田耕太郎(阿南工業高等専門学校創造技術工学科) 川畑成之(阿南工業高等専門学校創造技術工学科) 太田健吾(阿南工業高等専門学校創造技術工学科) 菊池弥生(阿南工業高等専門学校教育開発推進室)
10	客観的な行動特性把握によるEQ能力開発手法の提案	畠一樹	徳島大学総合教育センター, キャリア支援部門	○	
11	学生による学生と教員のコミュニケーションの仕掛け	長谷川紀幸	横浜国立大学理工学部		
12	CLALを通じたアクティブ・ラーナー育成とFDの課題	岡田高嘉	県立広島大学総合教育センター		門戸千幸(県立広島大学総合教育センター) 馬本勉(県立広島大学総合教育センター)
13	創価大学の職員力向上へ(グランドデザイン達成に向けた研修制度の取組み)	池ヶ谷浩二郎	創価大学総合学習支援オフィス		
14	セクショナリズムを払拭した部署間連携プログラム開発・運営における 職員の働き方(意識)改革	馬場亮志	追手門学院大学教育開発センター		宗浩嗣(追手門学院大学国際交流教育センター)
15	防災をテーマとした準正課教育の実践と教育効果の検討	藤巻晃	徳島文理大学地域連携センター	○	桃井克将(徳島文理大学保健福祉学部) 多田一子(徳島文理大学教務部) 藤本正己(徳島文理大学教務部)
16	シニア・リーダーシップを開発する初年次教育の実践	佐伯勇	甲南女子大学人間科学部		
17	AP事業SDウィークの取組について	西田浩敏	高知大学学務課	○	黒田さやか(高知大学学務部学務課)
18	全学的な初年次教育科目の推進に伴う教員のティーチングスキル・マインドの変化	上田勇仁	徳島大学総合教育センター教育 改革推進部門	○	吉田博(徳島大学総合教育センター教育 改革推進部門) 新原将義(徳島大学総合教育センター教育 改革推進部門)
19	看護学を専攻する学生への口腔アセスメントについての指導案の模索	桑村由美	徳島大学大学院歯学部歯学部 看護学系	○	岸田佐智(徳島大学大学院歯学部 看護学系)
20	SDをあたりまえにー青森中央学院大学の挑戦ー	石田壮平	青森中央学院大学法人本部企画部		
21	教職員の学生対応の質の向上に向けたマニュアルの作成	坂本智香	高知大学学生総合支援センター	○	
22	大学経営人材育成のための金沢大学ケースメソッドSD研修開発	松村典彦	金沢大学スーパーグローバル企画・推進室		近藤真史(金沢大学研究推進部研究推進課) 三島卓也(金沢大学総務部総務課) 上島洋佑(金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系)
23	東日本大震災被災地支援と連携したAL型大学院教育	佐藤高則	徳島大学理工学部応用理数コース	○	中山信太郎(徳島大学) 山本真由美(徳島大学総合科学部心身健康コース)
24	FDプログラムに関する効果検証の試み	MazurMichal	北海道大学高等教育推進機構		山本堅一(北海道大学高等教育推進機構)

SPODフォーラム2018の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク／香川大学

（日時・会場）

日時 平成30年8月29日（水）～ 8月31日（金）
会場 香川大学 幸町キャンパス（高松市幸町1番1号）

（全体テーマ）

教職員のミニマムエッセンシャルズを考える

（シンポジウム）

大学教職員に今、何が求められるのか
—予測困難な社会における大学の変化を見据えて—

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
※SPOD加盟校の参加者を優先する。
※民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

（内容）

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

（研修料）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員 無料
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
10,000円

（事務担当）

香川大学教育・学生支援室学務グループ
SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

(別紙 1 - 1)

平成 29 年度 S P O D 教職員能力開発経費 申請要領

【教職員能力開発経費とは】

今後の S P O D 事業（特に研修プログラム）の充実を図るための、教職員の能力開発に係る以下の経費。

研修・研究会等参加旅費（研修料込み）

条件：平成 29 年 1 1 月 1 6 日（木）以降に申込み可能で、平成 30 年 3 月 4 日（日）までに完了する研修等。

※研修等参加後 1 ヶ月以内に、A 4 用紙 1 枚程度で報告書の提出をお願いします。

※旅費は、愛媛大学の規定に基づきお支払いします。

【対象者】

S P O D 加盟校教職員

【申請締切】

平成 29 年 10 月 31 日（火）17:00

【申請方法】

別紙「S P O D 教職員能力開発経費申請書」に必要事項をご記入の上、各加盟校事務担当者を通じて S P O D 事務局へお申込みください。

【結果通知】

平成 29 年 1 1 月 1 5 日（水）（予定）までに、各加盟校事務担当者を通じて選考結果を通知します。

【その他留意事項】

S P O D 事務局において以下の順に優先順位を付して対象者を選考します。

1. 平成 30 年度以降に S P O D 主催等の研修プログラムにおいて講師を担当する予定のある教職員
2. 平成 29 年度に S P O D 内講師派遣事業、ティーチング・ポートフォリオ／アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ、S P O D フォーラム、その他 S P O D 主催等の研修プログラムにおいて講師を担当した（担当予定を含む）教職員
3. 平成 30 年度以降に S P O D 主催等の研修プログラムにおいて講師を担当する希望のある教職員
4. 上記以外の S P O D 加盟校教職員

平成29年度SPOD教職員能力開発経費 申請書(案)

機関名・所属		職名	
氏名			
E-mail		電話	

1. 研修・研究会等参加旅費(研修料込み)概要

第1希望	研修等名		
	研修等概要		
	今回の研修等がSPOD事業(特に研修プログラム)の充実に資する理由 今後のSPOD事業実施にあたり、参考となる理由を記載してください	例:研修内容や実施体制を確認し、SPOD講師派遣プログラム実施時の参考とする。 研修に参加し新たな情報を得ることで、次年度以降のSPODプログラムの講師を担当する際の参考とする。	
	開催日程	平成 年 月 日()〇時 ~ 平成 年 月 日()〇時	
	希望旅程	平成 年 月 日() ~ 平成 年 月 日()	
	開催地	例)東京都〇〇区〇-〇	
	交通手段	例)自宅(〇〇市)~〇〇駅:JR → 空港バス → 航空機:〇〇空港~〇〇空港 → 空港バス・市内バス → 研修地	
	見積額 (概算)	交通費	(円)
		研修料	(円)
第2希望	研修等名		
	研修等概要		
	今回の研修等がSPOD事業(特に研修プログラム)の充実に資する理由 今後のSPOD事業実施にあたり、参考となる理由を記載してください	例:研修内容や実施体制を確認し、SPOD講師派遣プログラム実施時の参考とする。 研修に参加し新たな情報を得ることで、次年度以降のSPODプログラムの講師を担当する際の参考とする。	
	開催日程	平成 年 月 日()〇時 ~ 平成 年 月 日()〇時	
	希望旅程	平成 年 月 日() ~ 平成 年 月 日()	
	開催地	例)東京都〇〇区〇-〇	
	交通手段	例)自宅(〇〇市)~〇〇駅:JR → 空港バス → 航空機:〇〇空港~〇〇空港 → 空港バス・市内バス → 研修地	
	見積額 (概算)	交通費	(円)
		研修料	(円)

※研修等の内容の分かるチラシ等を添えて申請してください。

2. SPOD研修プログラムの講師について(いずれかにチェックをお願いします。)

1)平成29年度中にSPOD内講師派遣, ティーチング・ポートフォリオ/アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ, SPODフォーラム, その他SPOD主催等の研修プログラムの

- 講師を担当した(担当する予定である)
 講師を担当していない

2)平成30年度以降にSPOD主催等の研修プログラムの

- 講師を担当する予定がある
 講師を担当する希望がある
 講師を担当する予定・希望はない

「研修プログラムガイド」の見直しについて(案) ～SPODウェブサイトの活用～

平成29年10月

1. 趣旨

今年度、SPOD設立から10年目を迎えるにあたり、加盟校教職員にとって「研修プログラムガイド」がより利用しやすいものとなるよう、SPODウェブサイトを活用した見直しを行いたい。

SPODでは、各加盟校教職員が相互に参加可能なFD・SDプログラム(開放プログラム)を網羅的に掲載した「研修プログラムガイド」を平成21年度から毎年発行し、加盟校の全教職員約7,000名に配付している。

「研修プログラムガイド」は、手軽に研修プログラムの内容を確認できるという利点があり、各プログラムの検索にあたっては、受講したいプログラムの詳細により早くたどりつけるよう、目的別(日程別・開催大学別・テーマ別)の研修プログラム一覧を掲載するなど誌面構成を工夫している。しかし、冊子体という性質上、検索性という観点ではデータによる検索には及ばない。

一方、SPODウェブサイトにおいても、「研修プログラムガイド」に掲載している各プログラムの詳細情報と同じ内容を「イベント情報」ページに掲載しているが、現在は検索機能を設けていないため、SPODウェブサイト上で各プログラムの詳細情報を研修プログラム一覧から検索できるよう、改訂を行いたい。

また、これに併せて、各プログラムの詳細情報提供をSPODウェブサイトに特化させ、紙媒体の「研修プログラムガイド」については、より早い時期にSPOD研修の全体像を加盟校教職員に提供できるよう「リーフレット」版に変更する、というように、ウェブサイトと紙媒体のそれぞれの特徴を活かした見直しを行いたい。

2. 検討事項

- (1) SPOD研修の情報提供方法
- (2) 研修プログラムガイドの掲載内容
- (3) 経費
- (4) 作業スケジュール

3. 実施方法

- (1) SPODコア会議において研修プログラムガイドの見直しを検討する。
- (2) 持ち帰り審議を行う段階で、必要に応じ、コア校内や県内各加盟校の意見を伺う。

4. 作業スケジュール

[参考]前年度の冊子作成スケジュール

日程	会議等	事項	日程	事項
7月5日	コア会議 (対面)	見直し提案	12月	コア会議 ・研修プログラムガイド作成の 概要説明 ・各コア校への原稿作成依頼
7月～8月		各加盟校からの意見確認		
9月～10月	コア会議	見直しの方針決定	2月	原稿取りまとめ
10月～11月		方針に沿って詳細調整	3月上旬	業者へ原稿渡し
12月	コア会議	各コア校へ概要説明 原稿作成依頼	3月中旬	校正
			4月末	納品⇒各加盟校へ送付

5. SPOD研修の情報提供方法(見直し後)

	紙媒体	SPODウェブサイト		紙媒体 作成費用 (概算)※
		紙媒体の PDF版	研修プログラム 一覧 詳細	
見直し前	冊子	○	—	約100万円
見直し後(案)	リーフレット	○	○	約30万円

※ウェブサイト改訂費用:約6万円(初年度のみ)(一覧表示及びフリーワード検索のみ)

注)検索機能を高度化する場合追加経費あり

【メリット】

- ①校正期間を短縮できるため、より早い時期に各加盟校に送付できる。
- ②必要な情報をハイライトで掲載できるため、全体像を理解しやすい。
- ③紙媒体作成費用を抑えることにより、各加盟校の負担金を全体で約70万円引き下げられる。

研修プログラムガイドの見直しに関する加盟校からの意見とりまとめ

アンケート実施日：平成29年7月20日（木）～平成29年9月1日（金）

アンケート対象校数：24校

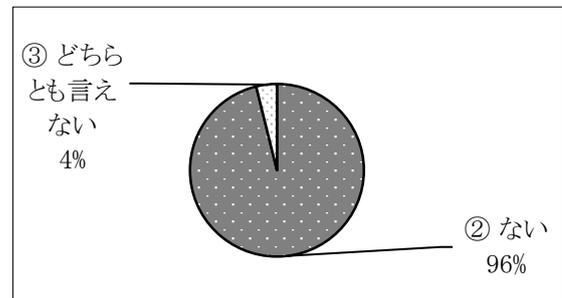
※ 1法人に複数大学・短期大学・短期大学部が併設されている場合は1法人1校として計算

アンケート回答校数：26校

※ 高知県公立大学法人及び学校法人松山大学は、大学・短期大学単位での回答あり

問1. 研修プログラムガイドの見直しにより、貴学の活用に大きな支障が生じる可能性があると思われるですか。

	度数	割合
① ある	0	0.0
② ない	25	96.2
③ どちらとも言えない	1	3.8
計	26	100.0



※問1で「①ある」または「③どちらとも言えない」と回答いただいた場合の「支障の内容／理由」をお答えください。

- 教職員がSPOD研修に受講申し込みをする際に、冊子体を利用しているかどうかのアンケート等を取っていないので、大きな支障になるかどうかの判断ができない。ただ、実際冊子体を利用している、利用していないに限らず、リーフレットになると冊子体に比べ、手に取る機会等は減るのではないかと思います。

問2. その他「研修プログラムガイド」の見直しについて御意見等があれば、記載してください。

【肯定的意見】

- SPODウェブサイト上で検索できるようになれば、更に活用しやすくなると思います。
- 原案賛成です。
- 今回の見直しはたいへん良いと思います。
- WEBの活用で問題ないと思います。利便性向上と経費節約になるのでよいと思います。
- WEB化された場合、過去年度も検索可能であることを希望します。

【その他意見】

- 冊子体の方が良いとは思いますが、予算、事務的負担等を勘案すると致し方ないのではないかと思います。
- 現在、SPODのHPに掲載していただいているプログラムガイドはブラウザによっては、文字化けして読めないのが、改善していただければと、ありがたいです。
→対応策(※)をお知らせし、改善済み
※文字化けの発生するPCで使用しているブラウザ(Firefox)の設定を変更

SPOD ウェブサイトの見直しについて (案)

改修その1 イベント検索

複数条件検索 (イメージ案)

従来のプログラムガイドの検索方法をウェブに反映!

階層としては以下のものを検討中...

トップページのイベントバナーの下に検索バー追加

イベント情報

SPODについて

- ・ 設置目的
- ・ 規約
- ・ 取組内容
- ・ 関連情報
- ・ 加盟校一覧

研修プログラムガイドを見る

全て
2017年度
:
2009年度

授業の基本
参加型学習
ICT
:

授業を担当して間もない方
授業に参加型学習を取り入れたい方
大学職員として基礎力を見につけたい方
:
など

※一覧表示は、当サイト閲覧時の年度に実施されるプログラムを全表示 (講師派遣プログラム除く)

イベント情報

カレンダー表示 / 一覧表示

条件で絞り込む

検索年度 ▼

開催県

徳島 香川 愛媛 高知

開催日

▼ ~ ▼

対象

FD SD FD/SD共通
 プレFD 総合

受講方法

対面 遠隔 e-ラーニング

テーマ ▼

レベル・フェーズ

ミクロ ミドル マクロ

おすすめ対象者 ▼

フリーワード検索

検索

講師派遣プログラム一覧

条件検索すると一覧表示になる

イベント一覧 (開催日順)

開催日【開催地/対象】タイトル

- 年●月●日 (●) 【愛媛/FD】 会議マネジメント
- 年●月●日 (●) 【徳島/FD】 授業設計ワークショップ
- 年●月●日 (●) 【高知/FD】 大学授業入門
- 年●月●日 (●) 【徳島/総合】 SPODフォーラム2017
- 年●月●日 (●) 【香川/FD】 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」
- 年●月●日 (●) 【香川/FD】 大人数講義をもっとうまくやるためのコツ
- 年●月●日 (●) 【愛媛/FD】 学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法
- 年●月●日 (●) 【高知/FD】 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ
- :
- :

2017年						
日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
				【香川/研修 /SD]次世	【香川/研修 /SD]次世	【香川/研修 /SD]次世
				代リ-ダ-義 感ゼミナ-ル (第3回)	代リ-ダ-義 感ゼミナ-ル (第3回)	代リ-ダ-義 感ゼミナ-ル (第3回)
29	30	31				

イベント記事を印刷して利用できるよう 「印刷用ページを表示する」を追加

日時 ▼ 2017年09月06日 ●時●分～●時●分

場所 ●●大学●キャンパス●●講義室

▼ 【高知／研修／FD】グループワークの技法

▶ 一覧へ戻る

印刷用ページ
を表示する

概要

研修プログラムガイド2017 (p. 40)掲載

【内容】

グループワークを多用することで、学生の諸能力が鍛えられると期待されますが、教員が間違った指導（介入）や評価をしてしまうと台無しになってしまう場合もあります。担当者が授業のねらいを理解し、観察の観点や介入のポイントを知っておく必要があります。PBL型授業を有意義なものにするため、以下の様な内容のワークショップを行います。

- ・ミニ講義 グループワーク型授業のねらい
- ・ワークショップ
 - ①アイスブレイクの手法
 - ②試験紙法の手法
 - ③課題探求型授業の組み立て
 - ④ふりかえりの手法

改修その1 イベント検索

イベント記事

「新着情報」にして「お知らせ」も掲載



- イベント情報
- SPODについて
 - 設置目的
 - 規約
 - 取組内容
 - 関連情報
 - 加盟校一覧
- 研修プログラムガイドを見る
- 研修テキストを見る
 - FD ファカルティディベロップメント
 - SD スタッフディベロップメント
 - SPODフォーラム (2015年からの資料はこちら)
- 関連資料を見る
 - 会議 協議会等
 - 調査・報告・その他
- 加盟校専用 (要ID、PW)
- 総会

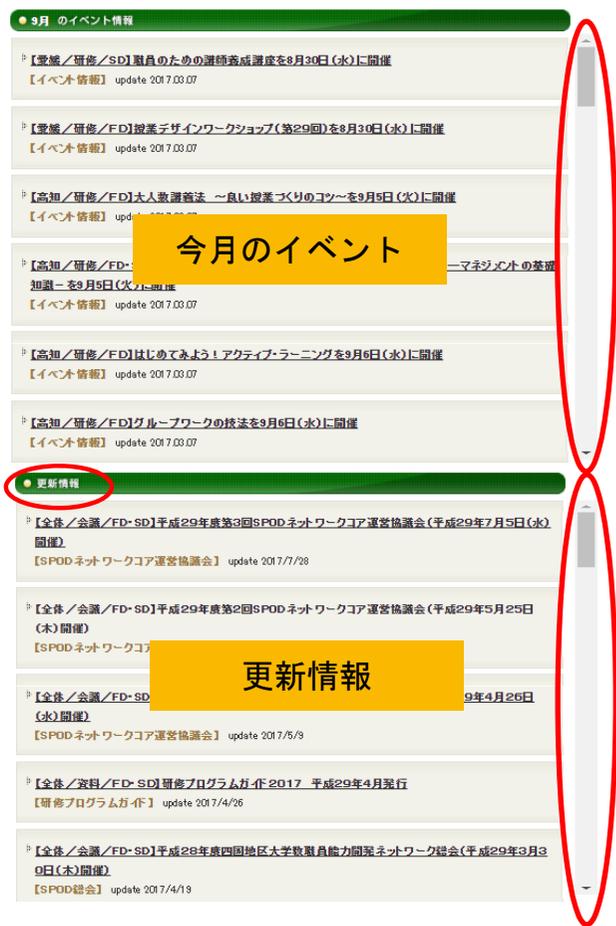


- 9月のイベント情報
 - 【教職/研修/SD】教員のための講師養成講座を8月30日(水)に開催
【イベント情報】 update 2017.03.07
 - 【教職/研修/FD】授業デザインワークショップ(第29回)を8月30日(水)に開催
【イベント情報】 update 2017.03.07
 - 【高知/研修/FD】大人教習箱法 ～良い授業づくりのコツ～を9月5日(火)に開催
【イベント情報】 update 2017.03.07
- 更新情報
 - 【全体/会議/FD・SD】平成29年度第3回SPODネットワークコア運営協議会(平成29年7月5日(水)開催)
【SPOD ネットワークコア運営協議会】 update 2017/7/28
 - 【全体/会議/FD・SD】平成29年度第2回SPOD ネットワークコア運営協議会(平成29年5月25日(木)開催)
【SPOD ネットワークコア運営協議会】 update 2017/6/5

「更新情報」を「新着情報」に変更

● SPODフォーラムのチラシやシラバスを公開したりフォーラムの概要ページを更新した際など、更新情報に加え「お知らせ」もここに載せたい。

垂直スクロールバーをつける



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会（紙上）議事概要

- 1 期 間：平成29年9月8日（金）～9月22日（金）
- 2 場 所：紙上
- 3 議 長：国立大学法人愛媛大学長 大橋 裕一
- 4 出席者：32名
- 5 議 題

(1) 副会長の選出について

四国地区大学教職員能力開発ネットワークの副会長である香川大学の長尾省吾氏が、香川大学長改選に伴い、平成29年9月30日付けで香川大学長の任期を満了されることとなった。

これに伴う後任の副会長として、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第8条第3項の規定に基づき、次期香川大学長の筧善行氏が推薦され、紙上による臨時総会を開催した結果、承認32名、不承認0名で、同人が副会長として承認された。

なお、任期は、規約第8条第10項の規定により、前任者の残任期間とし、平成29年10月1日から平成31年3月31日までとなる。

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（代表校）

第7条 コア校※のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（総会）

第9条 SPODに、総会を置く。

2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。

3 総会の議長は、会長が務める。

4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。

5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名（以下「代表者」という。）を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。

6 総会は、次の事項を審議する。

（1）SPODの活動方針及び活動報告に関すること。

（2）SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。

（3）会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。

（4）SPOD事業契約の役割分担に関すること。

（5）SPODの予算及び決算に関すること。

（6）その他全加盟校による審議が望ましい事項

7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。

8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

※コア校とは、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指す。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

※副会長（香川大学長）任期：平成29年10月1日～平成31年3月31日

(平成29年10月1日現在)

会 長	大 橋 裕 一	愛媛大学長
副 会 長	野 地 澄 晴	徳島大学長
副 会 長	笥 善 行 ※	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	桐 野 豊	徳島文理大学・ 徳島文理短期大学部学長
監 事	濱 中 俊 一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小 林 直 人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）

実施日：平成29年6月29日（木）～6月30日（金）

実施会場：愛媛大学校友会館2階 サロン

アンケート回答者数：33名（受講者数：34名）

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	31	93.9
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	2	6.1
④ その他（ ）	0	0.0
計	33	100.0

(2) 所属先の設置者

	回答数	割合
① 国（国立大学法人等）	23	69.7
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	2	6.1
③ 学校法人	8	24.2
④ その他	0	0.0
計	33	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキルは何ですか。（具体的に）

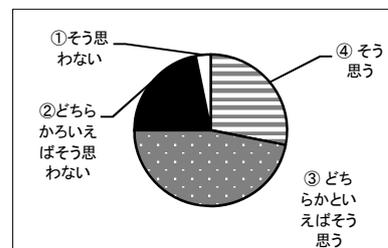
別紙記載

2. 研修参加への経緯について

(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	9	28.1
③ どちらかといえばそう思う	15	46.9
② どちらかといえばそう思わない	7	21.9
① そう思わない	1	3.1
計	32	100.0

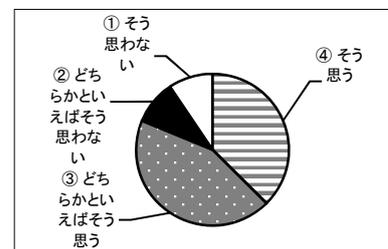
※1名未記入



(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	12	37.5
③ どちらかといえばそう思う	14	43.8
② どちらかといえばそう思わない	3	9.4
① そう思わない	3	9.4
計	32	100.0

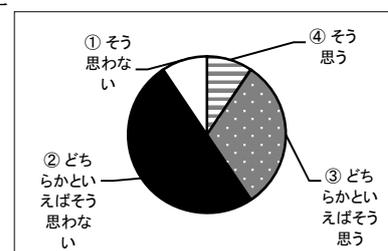
※1名未記入



(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

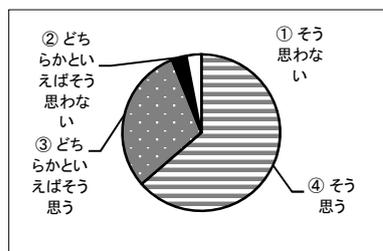
	回答数	割合
④ そう思う	3	9.4
③ どちらかといえばそう思う	10	31.3
② どちらかといえばそう思わない	16	50.0
① そう思わない	3	9.4
計	32	100.0

※1名未記入



(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

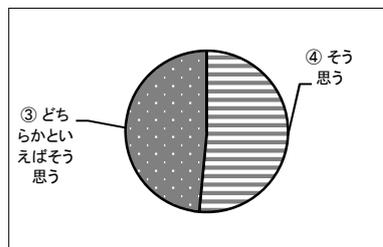
	回答数	割合
④ そう思う	21	63.6
③ どちらかといえばそう思う	10	30.3
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	1	3.0
計	33	100.0



3. 研修プログラムの設計について

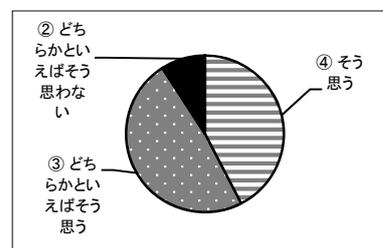
(1) 研修の目的は明確に設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	17	51.5
③ どちらかといえばそう思う	16	48.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



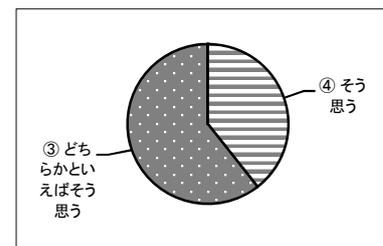
(2) 研修は自分の業務に生かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	14	42.4
③ どちらかといえばそう思う	16	48.5
② どちらかといえばそう思わない	3	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



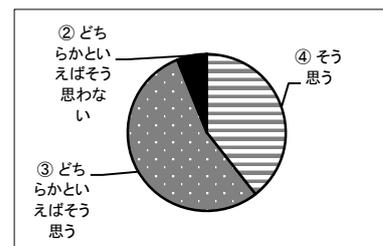
(3) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	13	39.4
③ どちらかといえばそう思う	20	60.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



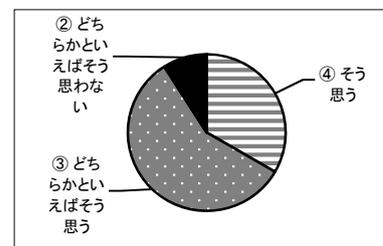
(4) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	13	39.4
③ どちらかといえばそう思う	18	54.5
② どちらかといえばそう思わない	2	6.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



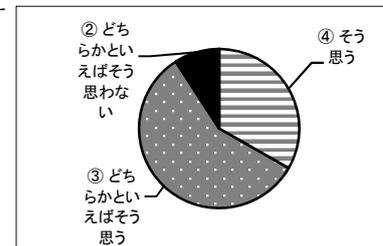
(5) 研修内容は丁度良いレベルに設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	11	33.3
③ どちらかといえばそう思う	19	57.6
② どちらかといえばそう思わない	3	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



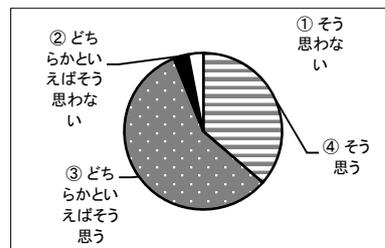
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	11	33.3
③ どちらかといえばそう思う	19	57.6
② どちらかといえばそう思わない	3	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



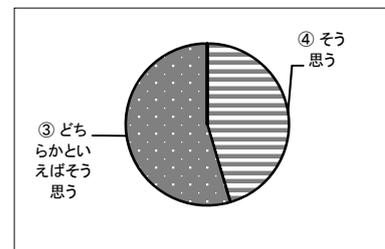
(7) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	12	36.4
③ どちらかといえばそう思う	19	57.6
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	1	3.0
計	33	100.0



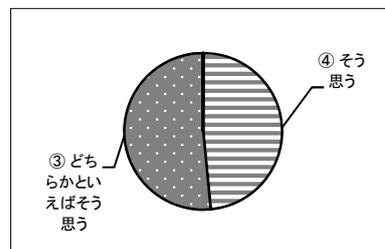
(8) 研修会場には十分な設備が整っていた

	回答数	割合
④ そう思う	15	45.5
③ どちらかといえばそう思う	18	54.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



(9) 参加者の人数は適当だった

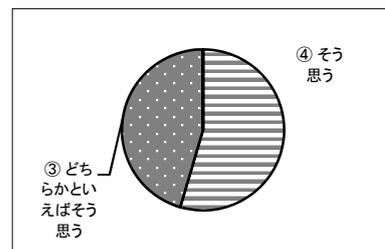
	回答数	割合
④ そう思う	16	48.5
③ どちらかといえばそう思う	17	51.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



4. 研修スタッフについて

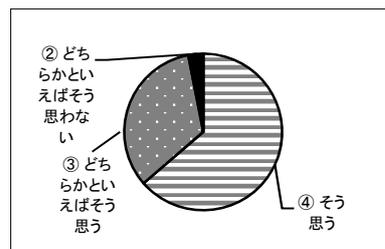
(1) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	18	54.5
③ どちらかといえばそう思う	15	45.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



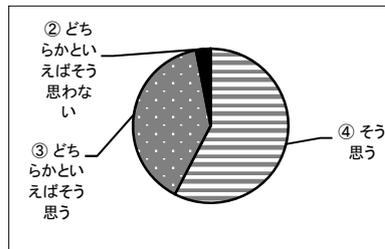
(2) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	21	63.6
③ どちらかといえばそう思う	11	33.3
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



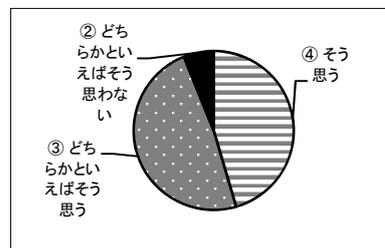
(3) 講師は研修に必要な知識を十分に持っていた

	回答数	割合
④ そう思う	19	57.6
③ どちらかといえばそう思う	13	39.4
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



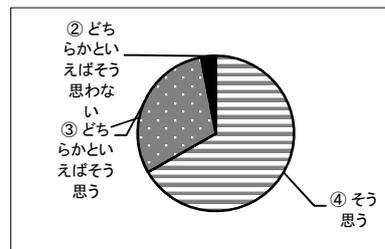
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	15	45.5
③ どちらかといえばそう思う	16	48.5
② どちらかといえばそう思わない	2	6.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



(5) 事務局の対応は丁寧だった

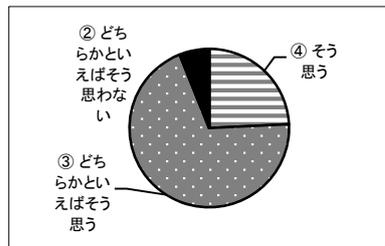
	回答数	割合
④ そう思う	22	66.7
③ どちらかといえばそう思う	10	30.3
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	132.0



5. 研修成果について

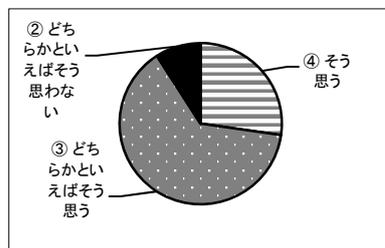
(1) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	8	24.2
③ どちらかといえばそう思う	23	69.7
② どちらかといえばそう思わない	2	6.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



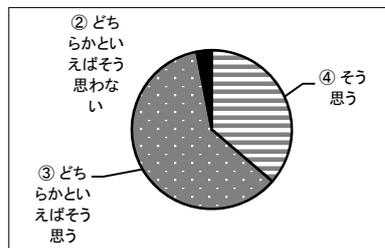
(2) 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	9	27.3
③ どちらかといえばそう思う	21	63.6
② どちらかといえばそう思わない	3	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



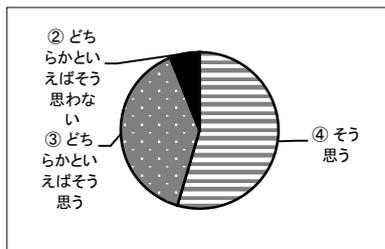
(3) 研修の内容は十分理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	12	36.4
③ どちらかといえばそう思う	20	60.6
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



(4) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	18	54.5
③ どちらかといえばそう思う	13	39.4
② どちらかといえばそう思わない	2	6.1
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



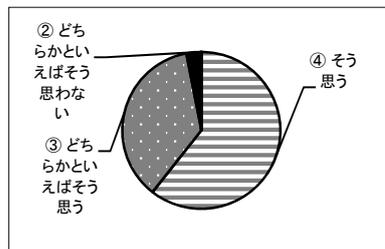
受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

6. 研修全体について

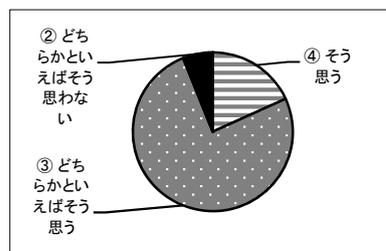
(1) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	20	60.6
③ どちらかといえばそう思う	12	36.4
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



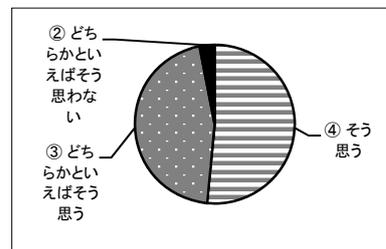
(2) 研修は期待を上回る内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	6	25.0
③ どちらかといえばそう思う	25	104.2
② どちらかといえばそう思わない	2	8.3
① そう思わない	0	0.0
計	33	137.5



(3) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	17	51.5
③ どちらかといえばそう思う	15	45.5
② どちらかといえばそう思わない	1	3.0
① そう思わない	0	0.0
計	33	100.0



研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

別紙記載

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

別紙記載

【自由記述欄】

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

(コミュニケーションに係るもの)

- ・部下への指導力 (5)
- ・説得力 (2)
- ・部下とのコミュニケーション能力
- ・プレゼンテーション能力
- ・スムーズに自分の考えを伝え、反対意見も伝えることができるスキル
- ・人に分かりやすく説明すること
- ・アンガーマネジメント

(大学リテラシーに係るもの)

- ・大学リテラシーについて (3)
- ・大学組織について
- ・大学の経営知識
- ・大学職員の役割としての知識
- ・自大学の職員として何が必要か学ぶこと

(会議運営に係るもの)

- ・関係者間の調整能力 (6)
- ・会議運営力 (2)
- ・根回し力

(その他のスキル・知識)

- ・専門用語や知識全般 (2)
- ・所属部署の業務内容の知識
- ・学生対応について
- ・入試改革の知識修得
- ・評価するスキル
- ・リーダーシップ
- ・新しいこと(前例のないこと)を企画・運営するスキルその際に必要な学内の調整力
- ・コーチング
- ・パソコンスキル
- ・発想力
- ・集中力を高めるスキル
- ・今回の研修内容の全て

5. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

(コミュニケーション実践)

- ・コミュニケーション実践での考え方 (2)
- ・今春より部下が増え、自分は上に立つ人間ではないと思い込み、精神的に辛かったが、上司・部下とのコミュニケーション実践を受講し、考え方が楽になり、前向きに能力開発をしていこうという気持ちを持つことができた。

(大学リテラシー)

- ・大学リテラシーについて、今後、答申を含め、色々な分野へのアンテナを張り巡らせたいと思う。(3)
- ・大学リテラシーの講義が大変ためになった。自分もこういった講義をしてみたいと思った。
- ・大学リテラシーについて、必要のある事柄が具体的にイメージできた。
- ・大学リテラシーについては、なかなか通常業務の中で考える時間がなかったのでよかったと思う。

(会議運営実践)

- ・会議を運営する(議事進行する)立場になるという視点がなかったので、ハッとした。
- ・会議についてですが、審議→了承される会議しか行っていたことがなかったので、議題から結論まで進める会議、論点をずらさない事の大切さは勉強になった。

(交流)

- ・様々な大学(人)の考え方を知ることができた。(2)
- ・新たな人脈ができた。(2)
- ・グループワークで積極的な意見交換が行えた。(2)
- ・国立と私立の違いが明らかになって面白かった。

(その他)

- ・コミュニケーション、大学リテラシー、会議運営において、普段あまり意識せずに業務にあたっていたが、再認識することができた。
- ・どの講義でも、実践できるスキルを入手できた。
- ・知見を深めることができた。
- ・仕事を指示することの大変さ、心構えができたと思う。
- ・自分の勉強不足な点もよくわかったので、もっと努力したい。
- ・自身を振り返る良い機会になった。
- ・忘れていたことを思い出した。
- ・意欲的に取り組むことができた。

6. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

(講義内容)

- ・大学リテラシーについては、初任者研修の中でも行うべき内容だと思う。
- ・会議運営実践はもう少し実務的なコツを教えてほしかった。
- ・いつも同じ手法なので、新しいセミナーの手法を考えてはどうでしょうか。
- ・実践形式の研修が勉強になるのではないかと思う。
- ・グループワークが多いのは良いが、個人的には知識的な部分や専門的な所を深めたかった。

(運営面)

- ・席を動くことが多かったが、部屋が狭く、動きにくかった。
- ・毎回班を替えるのはスタッフの負担が増えるのでやめてもいいと思う。
- ・週末に研修があるのは助かる。

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

- ・実際の経験に基づく事例とその解決について
- ・個々の能力開発に関するプログラム
- ・現在の内容で満足。

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）

実施日：平成29年9月20日（水）～9月21日（木）

実施会場：愛媛大学本部棟5階 第1会議室

アンケート回答者数：20名（受講者数：9/20（水）20名，9/21（木）19名）

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	19	95.0
② 短期大学	1	5.0
③ 高等専門学校	0	0.0
④ その他（ ）	0	0.0
計	20	100.0

(2) 所属先の設置者

	回答数	割合
① 国（国立大学法人等）	16	80.0
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	1	5.0
③ 学校法人	3	15.0
④ その他	0	0.0
計	20	100.0

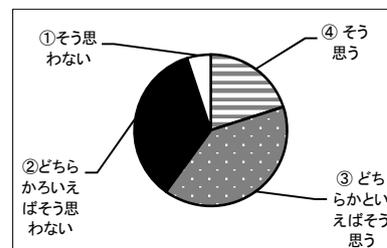
(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキルは何ですか。（具体的に）

別紙記載

2. 研修参加への経緯について

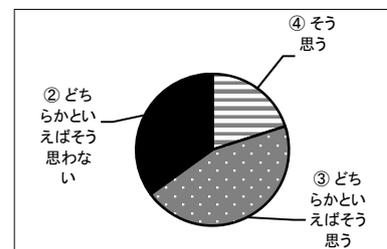
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	4	20.0
③ どちらかといえばそう思う	8	40.0
② どちらかといえばそう思わない	7	35.0
① そう思わない	1	5.0
計	20	100.0



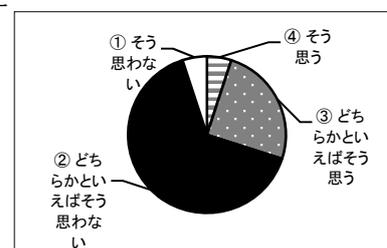
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	4	20.0
③ どちらかといえばそう思う	9	45.0
② どちらかといえばそう思わない	7	35.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



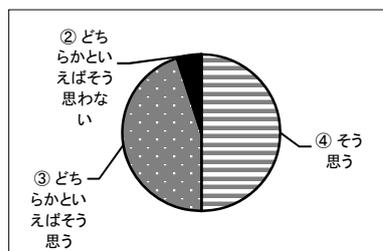
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	1	5.0
③ どちらかといえばそう思う	5	25.0
② どちらかといえばそう思わない	13	65.0
① そう思わない	1	5.0
計	20	100.0



(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

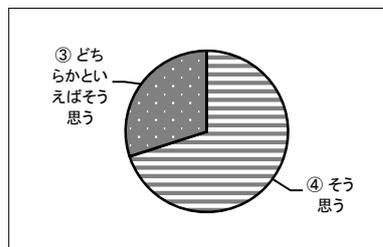
	回答数	割合
④ そう思う	10	50.0
③ どちらかといえばそう思う	9	45.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



3. 研修プログラムの設計について

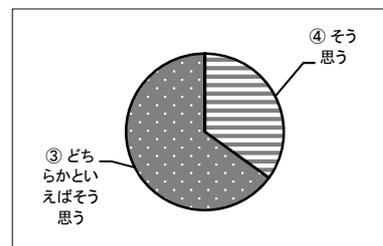
(1) 研修の目的は明確に設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	14	70.0
③ どちらかといえばそう思う	6	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



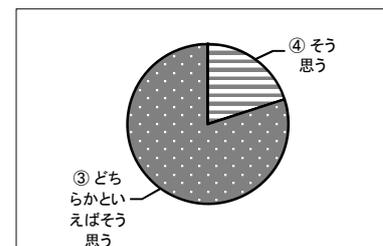
(2) 研修は自分の業務に生かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	35.0
③ どちらかといえばそう思う	13	65.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



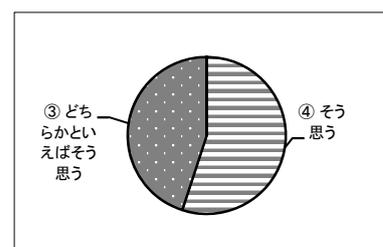
(3) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	4	20.0
③ どちらかといえばそう思う	16	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



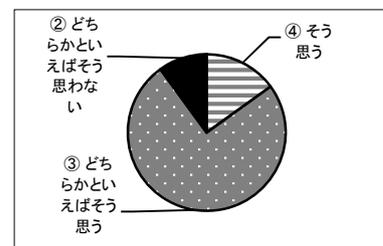
(4) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	11	55.0
③ どちらかといえばそう思う	9	45.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



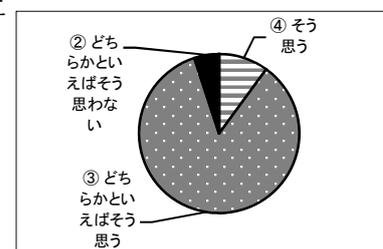
(5) 研修内容は丁度良いレベルに設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	3	15.0
③ どちらかといえばそう思う	15	75.0
② どちらかといえばそう思わない	2	10.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



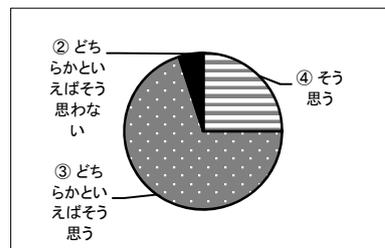
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	2	10.0
③ どちらかといえばそう思う	17	85.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



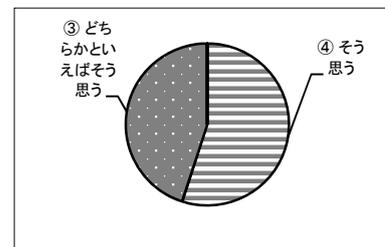
(7) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	5	25.0
③ どちらかといえばそう思う	14	70.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



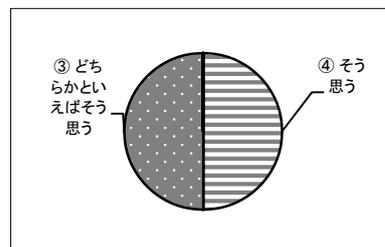
(8) 研修会場には十分な設備が整っていた

	回答数	割合
④ そう思う	11	55.0
③ どちらかといえばそう思う	9	45.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



(9) 参加者の人数は適当だった

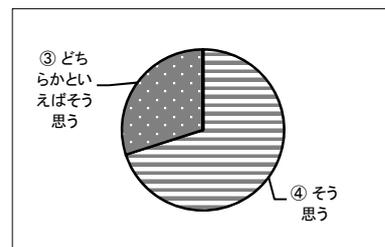
	回答数	割合
④ そう思う	10	50.0
③ どちらかといえばそう思う	10	50.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



4. 研修スタッフについて

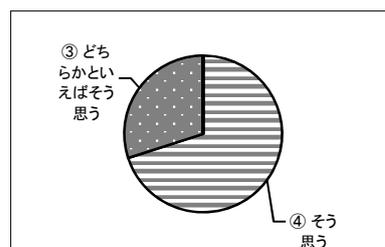
(1) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	14	70.0
③ どちらかといえばそう思う	6	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



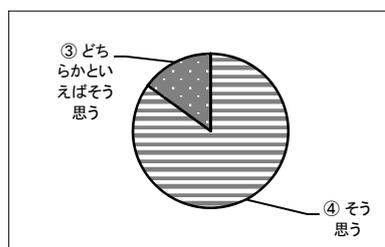
(2) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	14	70.0
③ どちらかといえばそう思う	6	30.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



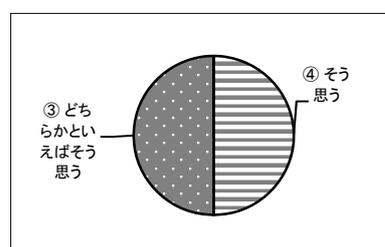
(3) 講師は研修に必要な知識を十分に持っていた

	回答数	割合
④ そう思う	17	85.0
③ どちらかといえばそう思う	3	15.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



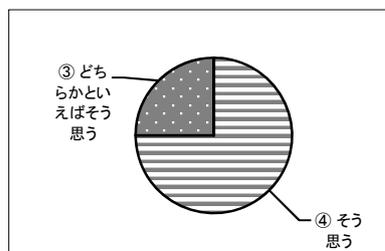
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	10	50.0
③ どちらかといえばそう思う	10	50.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



(5) 事務局の対応は丁寧だった

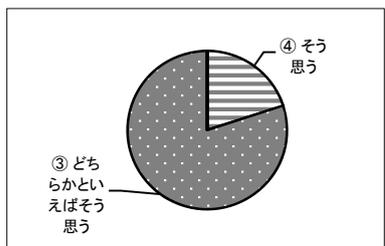
	回答数	割合
④ そう思う	15	75.0
③ どちらかといえばそう思う	5	25.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



5. 研修成果について

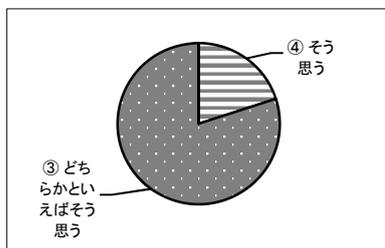
(1) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	4	20.0
③ どちらかといえばそう思う	16	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



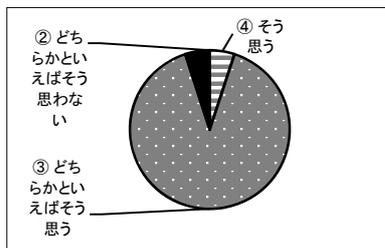
(2) 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	4	20.0
③ どちらかといえばそう思う	16	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



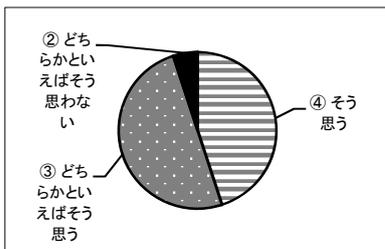
(3) 研修の内容は十分理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	1	5.0
③ どちらかといえばそう思う	18	90.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



(4) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	9	45.0
③ どちらかといえばそう思う	10	50.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



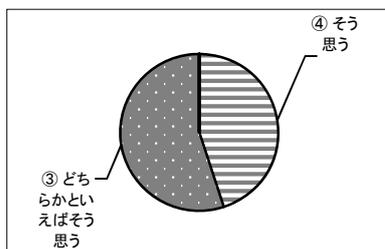
受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

6. 研修全体について

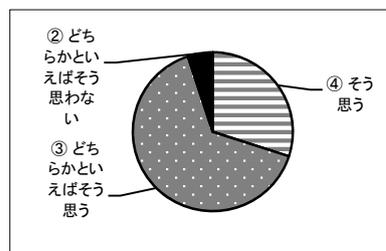
(1) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	9	45.0
③ どちらかといえばそう思う	11	55.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



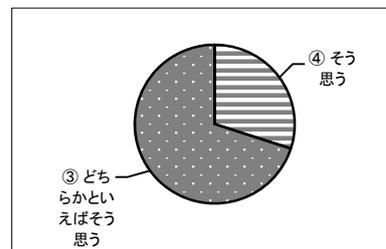
(2) 研修は期待を上回る内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	6	30.0
③ どちらかといえばそう思う	13	65.0
② どちらかといえばそう思わない	1	5.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



(3) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	6	30.0
③ どちらかといえばそう思う	14	70.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

別紙記載

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

別紙記載

【自由記述欄】

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

(戦略マネジメントに係るもの)

- ・マネジメント能力 (6)
- ・経営戦略
- ・企画戦略
- ・大学運営
- ・政策を策定するスキル

(人材育成に係るもの)

- ・人材育成のスキル (部下の育成) (5)
- ・人材育成の知識 (2)
- ・ (相手に伝える, 説明する, 指示を出す等の) コミュニケーション能力 (2)
- ・ 部下の業務の把握や管理
- ・ 部下に必要な知識を身につけさせ, 自発的に学習するよう仕向ける力
- ・ 人事考課
- ・ 人事, 会計の基本的な知識
- ・ 部署のモチベーションを維持するための知識

(メンタルヘルス・ラインケアに係るもの)

- ・メンタルヘルスのスキル, 知識 (4)

(その他のスキル・知識)

- ・危機管理 (3)
- ・情報分析力
- ・判断力
- ・決定力
- ・行動力

5. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

(戦略マネジメント論)

- ・戦略を策定するに当たって、分析を行う際の手法のポイントが理解できた。
- ・戦略の定義を初めて知った。
- ・将来に向けての経営戦略について（競争相手、何を巡ってか、状況判断等）分かったこと。

(人材育成論)

- ・ビジョンの設定が必要であると分かったこと。

(メンタルヘルス・ラインケア実践)

- ・すぐ応用できる内容だった。
- ・傾聴と共感（テクニックより相手を理解する姿勢）が大事だと分かったこと。
- ・新しい情報を得ることができた。

(交流)

- ・国立大学や公立、私立等の、普段情報交換する事のない機関の方とも情報交換することができました。
- ・他大学の人も含め、多くの人の意見を聞くことができた。
- ・研修の内容が充実していたことはもちろんですが、四国地区の他大学の方と新たな人的繋がりを作ることができたのは大変良かったと思います。
- ・他大学の方と繋がりができた。

(その他)

- ・自身の仕事の振り返りをする機会になった。
- ・全ての科目について何となくは分かっていたが、今回より深く理解することができ、今後に活かしていきたいと思った。
- ・何となく分かっていたことの裏付けとして理論的に理解することができた。
- ・大学のビジョン等も念頭に置く必要を感じられた。
- ・どの講義も、日常業務の中では得ることのできない知識であったので良かった。
- ・「戦略マネジメント論」、「メンタルヘルス・ラインケア実践」などが、今後の仕事に活かせる内容で非常に良かった。
- ・スキルが身についた
- ・多様な考え方を知るきっかけとなった。
- ・明日に繋がる内容だった。
- ・触発される場所もあった。
- ・これからの職場で活かせることができる内容であった。
- ・自己の知識向上に繋がった。
- ・私たちに必要な講義内容だった。
- ・3つのプログラムがいずれも管理職に必須の知識やスキルである点が良かった。

6. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

- ・盛り沢山のプログラムのため実践を深めることが難しかったようです。テーマを絞り、深く話し合い検討できるようなプログラムを期待します。
- ・内容は良いと思うが、もう少し早い時期（係長や主任クラス、管理職に就く前）に聞かせるとより良い効果かなと思う内容もあった。
- ・ある程度の答えや指針は示していただいた方がありがたい。
- ・戦略マネジメントはもっと時間を取って理解を深めたい。
- ・今のままで充分。

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

- ・参加者から事例（困っている、話し合いたい）を募り、そのテーマを基に議論するような研修を実施して欲しい。
- ・コミュニケーションについてのプログラム
- ・時間の作り方についてのプログラム
- ・同じ内容のままでいいので、多くの職員が参加できるようになると四国の大学のレベルが上がる。
- ・役員対象のSDセミナー

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成29年度職員のための講師養成講座
 日時：平成29年8月30日（水）～9月1日（金）
 会場：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージアム等
 アンケート回答者数：5名（受講者数：5名）

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	3	60.0
② 短期大学	1	20.0
③ 高等専門学校	1	20.0
④ その他（ ）	0	0.0
計	5	100.0

(2) 所属先の設置者

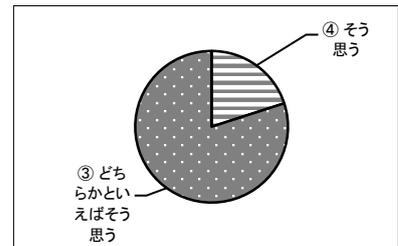
	回答数	割合
① 国（国立大学法人等）	4	80.0
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	0	0.0
③ 学校法人	1	20.0
④ その他	0	0.0
計	5	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキルは何ですか。（具体的に）
 別紙記載

2. 研修参加への経緯について

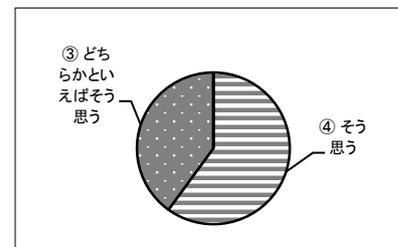
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



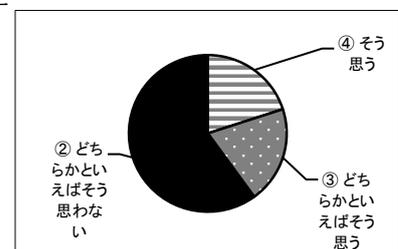
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	2	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



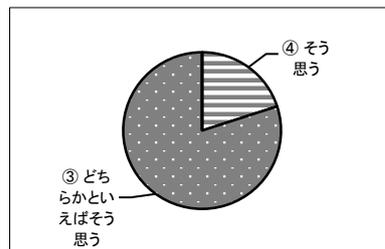
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	3	60.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

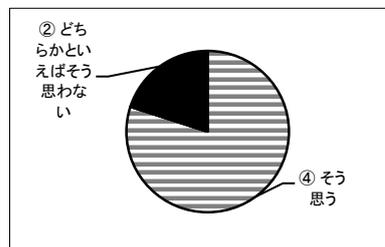
	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



3. 研修プログラムの設計について

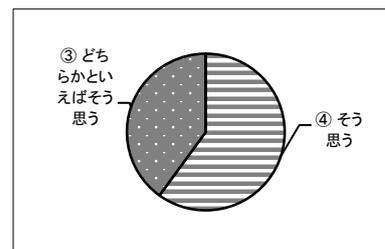
(1) 研修の目的は明確に設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	1	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



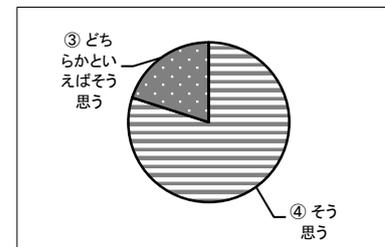
(2) 研修は自分の業務に生かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	2	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



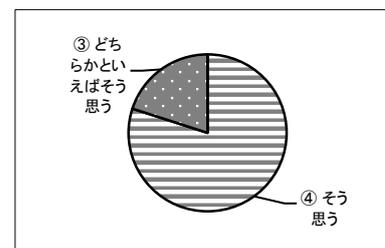
(3) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



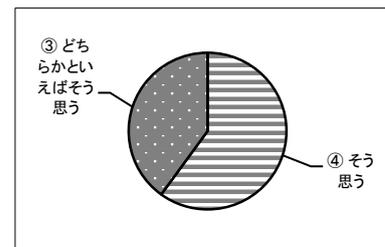
(4) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



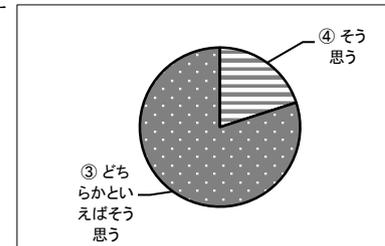
(5) 研修内容は丁度良いレベルに設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	2	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



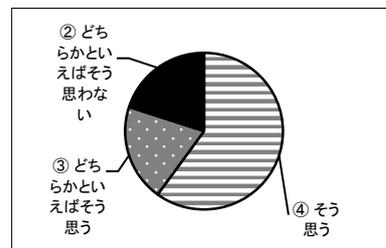
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



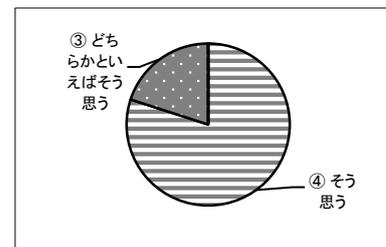
(7) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	1	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



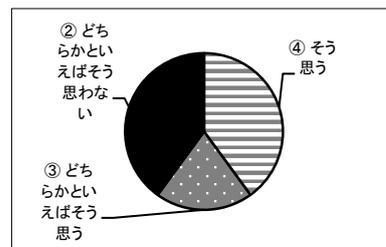
(8) 研修会場には十分な設備が整っていた

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



(9) 参加者の人数は適当だった

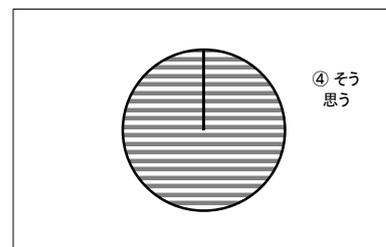
	回答数	割合
④ そう思う	2	40.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	2	40.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



4. 研修スタッフについて

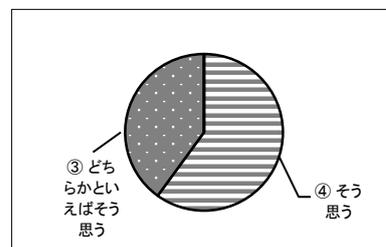
(1) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	5	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



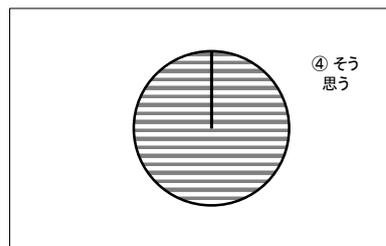
(2) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	2	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



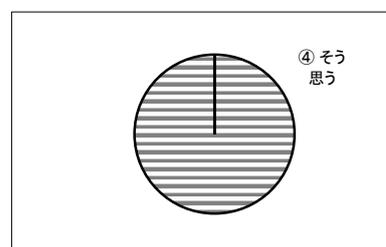
(3) 講師は研修に必要な知識を十分に持っていた

	回答数	割合
④ そう思う	5	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



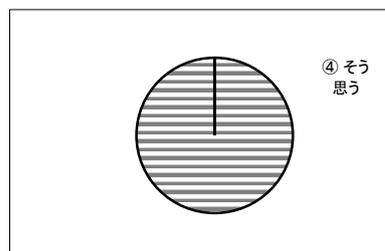
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	5	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



(5) 事務局の対応は丁寧だった

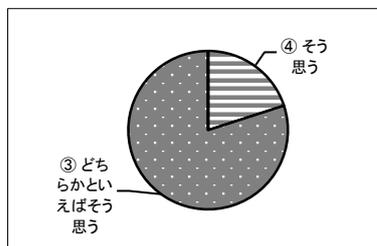
	回答数	割合
④ そう思う	5	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



5. 研修成果について

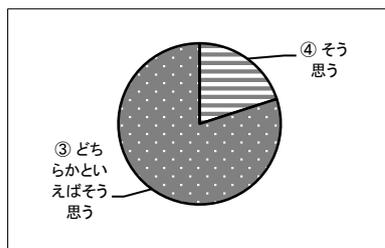
(1) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



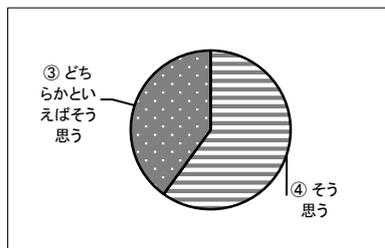
(2) 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



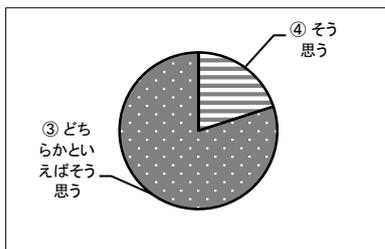
(3) 研修の内容は十分理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	3	60.0
③ どちらかといえばそう思う	2	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



(4) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	1	20.0
③ どちらかといえばそう思う	4	80.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



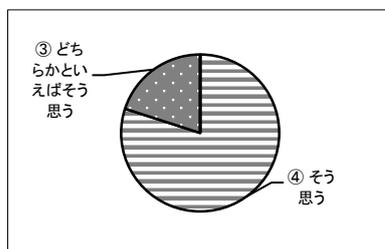
受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

6. 研修全体について

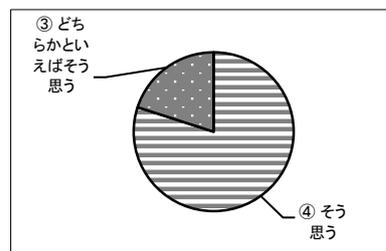
(1) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



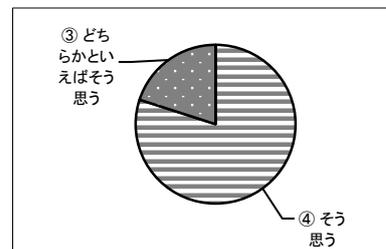
(2) 研修は期待を上回る内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



(3) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	4	80.0
③ どちらかといえばそう思う	1	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	5	100.0



研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

別紙記載

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

別紙記載

【自由記述欄】

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- ・研修プランの作成
- ・資料作成
- ・話す力
- ・たくさんの情報や伝えたい事項の要点をまとめ、与えられた時間内に説明することができるスキル
(要点以外のことをしゃべってしまうため)
- ・図書館のシステム(収書・廃棄・蔵書点検・利用促進・医中誌web等のWeb利用, 電子書籍等)に関するスキル

5. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

- ・研修の講師として、どのように研修を作っていくのか、考え方や実例を教えていただいたり、他の受講者がどのように考えて作ったか話を聞いたことが非常に刺激になり、受講前に心配していたよりも理解できたように思う。
- ・業務で研修をするときのノウハウをどうやって伝えたらよいかずっと悩みの種だったが、本研修で学んだことを簡易に(作業ベースに)まとめて、“OJTをするときのガイドライン”を作れるよう、チャレンジしたい。
- ・プレゼンテーション資料の作り方で注意すべき点。
- ・どういう組み立てで研修内容を設計していけばよいかという点(思いつきだけではダメ)。
- ・弱点、補強の方法を教えていただいたので、トレーニングしていきたい。
- ・自分が今まで考えたことのないことに気づくことができたこと。
- ・自分に必要な、足りないところが明確になった。
- ・少人数で、詳しく教えていただいた。
- ・積極的に取り組むことができたこと。

6. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

- ・ステップアップ研修, Give up 研修, upup 研修をお願いします。
- ・初めて聞く内容が多く、すぐもう一度資料を読み直したり、メモをまとめたりしたい単元があったが、休憩時間内にできない事が多かった。
- ・SPOD-SD講師になる以外の動機で参加したので、SPODをバラバラに受けている人向けにこの研修を受ける前の準備的なクラスがあってもよいのではないかと感じた。
- ・もう半日くらい延ばして、講師の研修をもう少しそれぞれ長目に設定した方がよいのではないかと思います。伝えたいことがたくさんあるのに、十分な時間がなく、早口になったり残念な感じ(講師が持っている印象)を受けました。

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいてどのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。

- 各大学に1つしかない部署（産学連携、IR、図書、情報など）向けのSDプログラムができると、四国の大学内でケーススタディやノウハウのシェア、人脈作りができて良いのではないかと思う。（学務系だと、学内の他学部に聞くことができるが、学内に1つしかない部署は改善を検討したいと思っても、実情を細々と複数の他大学に聞くのはやりづらい。SDとしてのケーススタディの場があると嬉しい。）
- 図書館に関するプログラム。
- 個々の能力開発に関するプログラム

